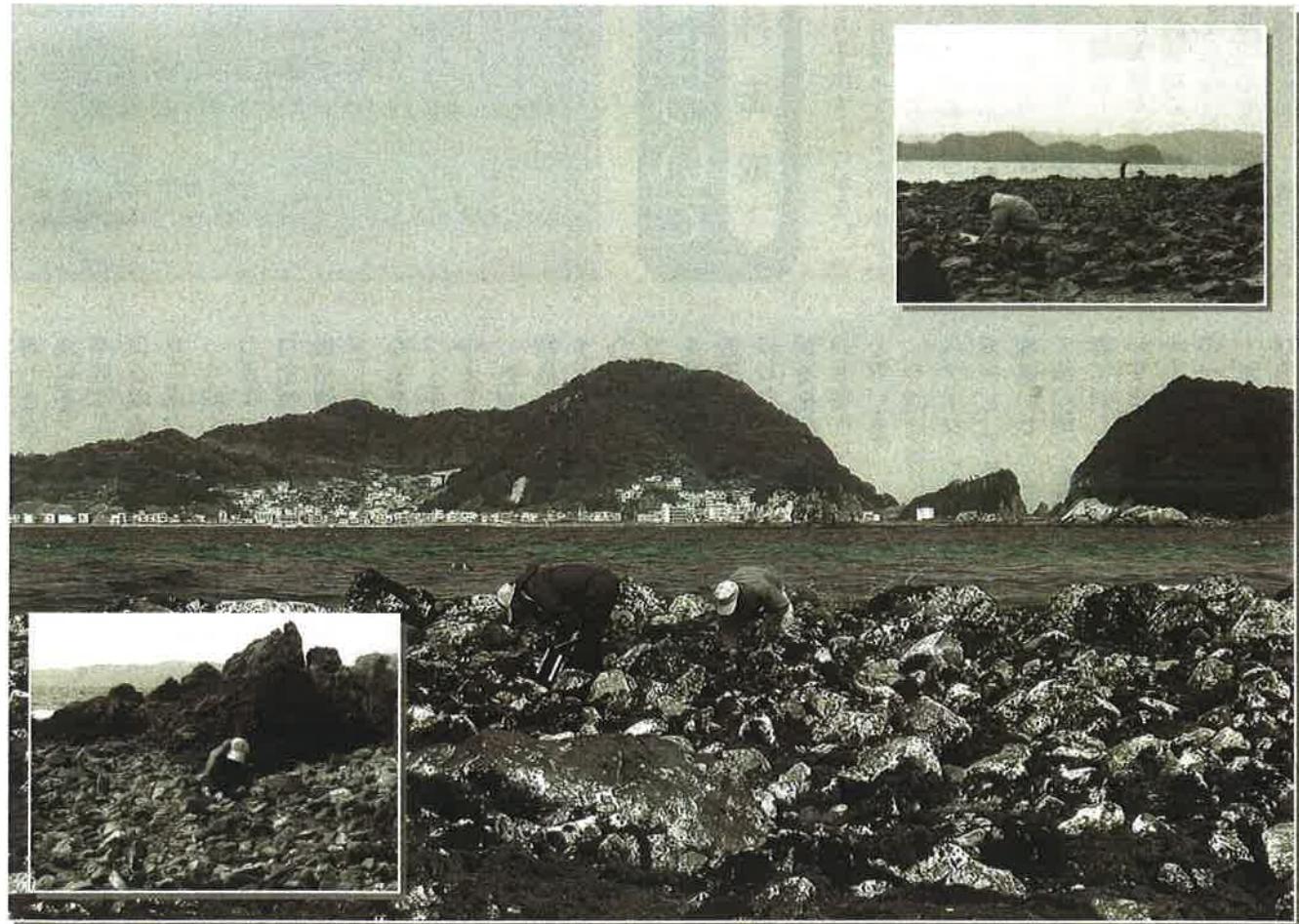




# 津久見 市議会だより

編集発行／大分県久見市議会(〒879-2435) 0972-82-9518



# 夏も近づく潮干狩りの風景

平成17年第1回市議会  
定例会は、3月8日(火)か  
ら3月24日(木)までの17  
日間の会期で行われま  
した。

市長提出議案は、報告1件、条例の制定4件、条例の一部改正13件、条例の廃止3件、平成16年度予算の補正10件、平成17年度予算案9件、計画の変更1件、規約の変更1件、土地の確認、字の区域編入5件、その他1件すべて可決されました。



主な内容

編集後記

卷頭言等の活動 60~80

一  
般  
質  
問  
No. 6

問 許可業者から各お店にごみを週1回収集して月額6千円とか週2回で8千円、つまり年間にすれば7万円とか10万円の料金を支払わなければならなくなる。4月からはお店の皆さんのがみは一般家庭ごみとして出してはいけませんと市報に報じられ、多くのお店の方々から苦情や不満が寄せられています。また、手数料が100キログラム未満が千円という設定にも「そんな重

## 事業系ごみの収集について

板井 王成

答 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第3条の「事業系ごみの説明をしてきました。説明内容は、法律の趣旨及び事業系ごみと家庭ごみの分

# 一般質問

## 6議員が登壇 傍聴者延べ32名

第1回定例会の一般質問は3月15日(火)に行われ、定数18名中6名の議員が市政全般について一般質問をしました。

なお、紙面の都合により全てを載せられませんのでご理解下さい。

理しなければならない」の規定により、津久見市においても、平成4年ころから許可業者による収集が始まり、現在50数社に協力をいただいています。

今回の事業系ごみの分割につきまして、他の先行している自治体と同様、法律の趣旨を厳格適用することは困難と思つております。できれば大きな事業所から順次、ご理解願つて本事業が推進できればと考えています。

処理方法については、直接持込む方法と許可業者へ委託する方法とがありますが、市へ持込む100キログラムまで千円というのは、平成15年4月から適用していますが、近隣自治体の料金体系を参考にしたもので、4月からの状況を把握しながら、今後改定の必要性について検討したいと思います。

今回は特に、中心街のごみステーションに事業系ごみが混在し、環境美化というには程遠い状況の中で、あらためて法の趣旨を明確にして事業者に対して一層の協力をお願ひするため、主要な団体やグループ等を中心として事業系

別の仕方などでしたが、持込み料金と合わせて事業者に対する説明が十分でなかつたと痛感しています。

一方、許可業者は市報掲載後、これまでの収集実績に基づく料金の設定をし、各事業者がら出されるごみの量や種類も分析せず、軒並みに営業し、市の説明不足と合わせて多くの事業者の方に混乱とご迷惑をおかけしました。

その後、許可業者に対しては、営業の方法を注意するとともに、料金についても、一般論として近隣自治体と同程度の料金や収集方法などを要請してきたところです。

料金や契約については、月極めによる方法と許可業者の指定する有料袋を購入する方法ができるようになります。1袋当たり、可燃ごみ大45リットルが250円、小20リットルが150円、不燃ごみ大45リットルが300円程度と聞いています。

収集の具体的な方法は、指定袋であつても一週間に何回や、1か月に何回など



一般質問をする議員

事業者の希望に添えるようになりました。

月号へ掲載するとともに商工会议所や区長会等へ改めて説明します。さらに、これまで業者から独自に説明や営業をされた事業者の皆さんに対しても、誠意をもつて再度説明するよう指導していますのでご理解下さい。

問 うばめ園への持込みは「事業者の皆さんは持込まないで下さい」とのことでの「何で」という人が多いが。

答 検討の結果、これまでどおりの収集と持込みで行くことにしました。



**問** 大阪池田小学校で起きた惨劇をきっかけに、子どもたちを狙った卑劣な犯罪が後を断ちません。弱者である子どもたちが、集う場だけに十分な安全対策をとる責務があると同時に防犯対策への取り組みが必要だと思います。

**答** 幼児・児童生徒・教職員の安全対策につきましては、学校ごとの危機管理マニュアルの作成、教職員の防犯訓練の実施、学校と地域との連携、学校と警察との連携等推進してまいりました。サスマタ数十本、携帯用の催涙スプレー數十個を購入するように発注しています。許可無く立ち入りを禁止する看板や、ステッカーを学校の各所に設置したいと考えています。すりガラスを透明ガラスにしたり、広く確認できるミラーを設置して見えるようにしたり、テレビカメラを設置したり、学校の出入口に門扉を設置など、可能なものから、逐次すすめていきたいと思います。

**公用車などへの防犯ステッカーの張り出しや防犯ブザーの配布について**

**問** 通学時の安全を守るために市の公用車をはじめ市内を走るタクシーに、子ども110番、防犯パトロール中などと書いたステッカーを張り犯罪を未然に防ぐとともに防犯への意識を高めてもらうことを目的に実施している自治体もあります。防犯ブザー、ベルを配布、貸与している学校もあります。実施していただけないでしようか。

**答** 昭和42年と昭和43年の両年度で市街地を中心に行財政改革の中では戸籍の電算化を重点課題としており、市民生活課では戸籍の電算化を承知しておりますが、現在、市街地をアリヤとして、交付金の活用を検討していきたい。

## 子どもの安全対策について

清水美知子



子どもの安全を守つて下さい。

## 津久見市のまちづくりについて

川野龍則

**住居表示について**

大字地番表示のみの地域があります。例えば大字津久見の辺りかわからなかと思われます。中心部は町名のあとに何番何号とわかりやすくなっています。大字地域には通称名があります。もつとわかりやすい表示に変更できないでしょうか。

**問** 国は平成16年度から、地域再生の為の新たな交付金を創設しました。これは、用途を細かく定めない交付金として、自治体の使い勝手を良くするものです。この中に「まちづくり交付金」があり、これは、地域の特性を生かしたまちづくりを実施し、全国都市再生を目的的に推進します。

**答** この交付金を取り入れるには、道路、公園、港湾などを申請し、津久見市が独自の『都市再生整備計画』を作り、県に申請し、国の認定を取らねばなりません。これを獲得する手立てはありますか。

**答** 補助率は40%以内で、エリアを決め、計画は3年から5年。この交付金の活用を検討しましたが、計画の策定には至っていない。しかし、この事業の必要性は認識しています。



一般質問をする議員

**問** 若者達の働く場所を確保する為にも、新しい企業の誘致が一番の課題だと思いますが、何がその障害になっていますか。

**答** 道路等の問題があり、今後は、この整備が最重要課題として、地域再生班の中で、埋立地の活用の検討と併せて、調査・研究していきたい。

### 退職手当の見直しについて

**問** 公務員の給与は、民間に準拠して決めていますから、民間との格差は正の為には、基本給同様、退職手当も根本的に手をつける状況にあります。

過去5年の退職者数と退職手当の総額を教えて下さい。

**答** 平成11年度から15年度まで、退職者数51名、手当総額は約12億3900万円です。

**問** 民間の退職金制度は、現在大きく変わりつつあります。が、津久見市独自の退職手当の新しい考え方もありますか。

**答** 退職金の算定は、公務員制度として国家公務員や県職員の例に準じて、市議会で条例化されています。他市町村も同様であります。

### 教科書の採択について

**問** 9年間の義務教育において、教科書が子供達に与える影響は多大なるものと思われます。この教科書が採択されまでの経過を教えて下さい。

**答** 教科書採択の権限は、各市町村の教育委員会にあります。大分県では、6地区毎で「共同採択」です。津久見市は、大分市、臼杵市、湯布院町、挾間町、庄内町と共に採択される訳です。

**問** 津久見市単独では、採択できないのですか。

**答** 現況では、できません。

**問** 保護者は、教科書の採択に関わる事ができますか。

**答** 教科書の展示会が1~2週間あり、閲覧する機会があります。

## 大型スーパー誘致の可能性について

上野 寛

り大変懸念に思つております。スーパーの出店を待ち望んでおられた市民の方々にお詫び申し上げます。

現在、他の企業から問い合わせがきていて、早急に

出店していただくよう全力を

尽くしていきたいと考えてお

ります。また議員さんが言わ

れる市民ニーズとして、衣料品や本なども取扱う店舗がほ

しいという希望があることは承知いたしております。これ

がら、市民ニーズを念頭におきながら、中心市街地活性化につながる企業誘致に努めたいと思つております。

**定員の目標管理について**

**問** 庁内行政機構の見直しによる定員の目標管理について、仕事のバランスと適正配置について

**答** 緊急行財政改革において、5年間で65人の削減目標を掲げております。5年後には全体で226人の人員になりますが、市民サービスの低下を招かないよう、うまく機能できる組織機構が必要となります。その第一段階として、今回の組織機構を見直した訳ですが、今後も人員の減少にあわせて段階的に組織の統合再編を進めていく予定です。行

理的に進めていく必要は感じていますが、各年度毎の事業量や退職者の職種・人員が不明確なため、定数管理について人事異動等により柔軟で機動的な見直しを図っていく必要があります。これにあわせて民間活力の導入、事務事業の見直し、スタッフグループ制の拡充と職員一人一人の能

力向上、特に事務事業の見直しについては、事業評価とともに現状の個々の仕事を見直していくことを考えております。

スタッフグループ制については、各課の事務の洗い出しと事務量の調査を行っており、今後も全府的に行う中で、全体的なバランスと人員の適正配置を行いたいと考えております。

職員には給料の5%カット等お願いし実行しておりますが、勤労意欲を失うことなく、職員が一丸となつて取組める環境づくりに努めていきます。

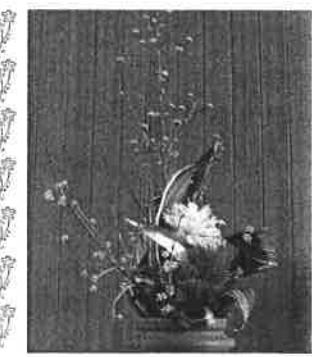
**問** 「津久見港埋立地の利用計画」大型スーパー誘致の可能性について

**答** 津久見港埋立地の商業用地の購入を予定していた企業から、購入申込みを辞退する届出がありました。辞退の理

由は、企業の経営上の判断ということです。平成15年1月からこの話が持ち上がり以来、企業の方が数回本市を訪れ、感觸としては出店の可能性が大きいものと期待しておりました。しかし、このような結果にな



企業進出を待つ商業用地



3月定例会の議場には小原流白百合会の皆さんから、3回にわたってお花が寄せられました。ありがとうございました。

## 事業系ごみ問題について

知念 豊秀

問 2月の市報で「事業系ごみ

は自らの責任で処理しなければならない」として発表された

後、市の許可事業者が一斉に契約取りの営業をはじめました。

市内の自営業者に私共で緊急アンケートを実施した結果、65・2%も「新たな負担に耐えられない」ことがわかりました。

4月実施にこだわらず、再検討すべきではないですか。

答 この事業は、法の趣旨に沿つて、行政は「家庭ごみ」を中心として収集し、事業系ごみは事業者の責任で適正な処理をお願いするものであります。

多くの自治体と同様に、津久見市においても、家庭ごみと事業ごみの分割を推進するものであります。なにとぞご理解とご協力をお願いします。

本事業は、各事業者の協力がなければ進みませんので、まず、4月から実施して、順次ご理解とご協力をいただきながら、拡大の方向で考えています。

問 ドリームフューエルセンター持込み100キロ未満では、零細業者ほど不利益になります。もっと公平になるようす

べきではないですか。

答 市への直接持込みと許可業者が独自に作製した「ごみ袋」を購入していただく2つの方法が明らかになり、事業者はどちらか有利な方を選択できるようになりましたのでご理解をお願いします。

福祉問題について

問 福祉事務所の前に障害者の専用の駐車場を作つてほしいと要望がありますが、実現でききないでしょうか。

答 福祉事務所の前は狭く、例えば、車イス利用者の

駐車場となりますが、一台あたり乗降用車スペースを含め幅350cm、長さ500cm以上必要です。通路の確保、その他の問題で危険が生じる可能性があります。ちなみに平成15年度末まで、5年間に5%の温室効果ガス削減目標で取り組んでいます。ちなみに平成15年度末で11・63%の削減となつており、すでに目標を上回っています。

この問題は世界的に放置できないほど、重要な問題になつてきました。そこで津久見市はどのように対応しているのでしょうか。近現代化の負の遺産とも言うべきこの問題は、いかにして解決するのでしょうか。

答 国は、平成10年に地球温暖化対策の推進に関する法律を制定しました。津久見市では県下でもいち早く、津久見市地球温暖化対策実行計画を策定し、すべての行政事務、事業について、5年間に5%の温室効果ガス削減目標で取り組んでいます。ちなみに平成15年度末まで11・63%の削減となつており、すでに目標を上回っています。

## 「指定管理者制度」導入 障害者雇用の活路に!!

池見耕治

3月議会で「津久見公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」が可決されました。

このことにより、06年4月より市民会館、総合運動公園、武道館等の公の施設の管理が外部委託されることになります。

単なる経費節減を目的とした外部委託ではなく、住民福祉の向上をはかるため、障

害者雇用の場として活用したりうですか。

答 条例では、指定管理者になりたい法人や団体を公募することになつています。

複数の団体が応募し選定する時、公平性や透明性は保証ありますので現状のままご理解頂きたいと思います。

選定委員会を設置し、保護者雇用の場として活用したりうですか。

答 施設管理4名、清掃2業者と契約しています。平成16年度予算でみると、使用料収入が440万円、電気や修繕費の恒常的経費を除いて860万円の支出です。

【意思】市内の障害者は約1,500人、そのうち殊に知的障害者の雇用は厳しい。地域の中で共に働き暮らしていく体制をつくるため、市の政策として進めてほしいのです。

合併問題の再検討について

問 新臼杵市が1月に発足したが、後藤新市長に合併協議の申し入れはしましたが、3月か、6月議会の後に申し入れをしたいと思います。

問 来年3月までの合併を市長は断念しました。合併特例債と交付税措置という二重債限の切れかかつたものを追い求める価値はありますか。

問 環境問題について

今年、2月16日



一般質問をする議員



白津広域連合規約の変更については、白杵市の収入役廃止に伴う変更です。

以上、審査の結果全員異議なく可決すべきものと決しました。

津久見市公の施設に係る  
指定管理者の指定の手続  
等に関する条例の制定に  
ついては、指定管理の導  
入を検討している施設に

について質疑があり、市民会館、総合運動公園、保戸島集会所、四浦地区集会所、保戸島及び四浦デイサー、ビスセンター、老人憩いの家、ときクラブ、インフォメーションセンター、センターラー、保戸島クリーンセンター、離島交流館、菜の花児童館、県南柑橘広域選果場、漁協の高洲埠頭、落ノ浦健康管理増進施設等を予定しているとの答弁がありました。また、予算的にはサービスの向上、予算の縮減を目指すものであるとの答弁がありました。

本件については、指定管理をする必要性が感じられないとの反対意見がありましたが、採決の結

委建設員經會濟

3月16日に委員会を開会し、付託された議案19件について審査を行いました。

津久見市の執行機関の委員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

津久見市公園条例の一部改正については、他自治体の公園の使用料について質疑があり、行商等において大分県が一日180円、大分市一日一平方メーターフェンス50円、佐伯市170円、豊後高田市20円との答弁がありました。

津久見市手数料条例の一部改正については、高齢者生きがい活動支援通所事業の施設利用手数料を400円から600円に上げることについて反対意見がありましたが、採決の結果可決すべきものと決しました。

社文教員會

◆3月16日に教員会を開き、付託された議案11件について審査を行いました。

津久見市の附属機関の委員等で非常勤のものの報

酬及び費用弁償に関する  
条例の一部改正について  
社会教育指導員と保健師

社会教育指導員と併せて  
祉推進委員は何人いるか  
との質疑があり、社会教

育指導員は2名で保健福祉推進員は146名です。この答弁がありま。

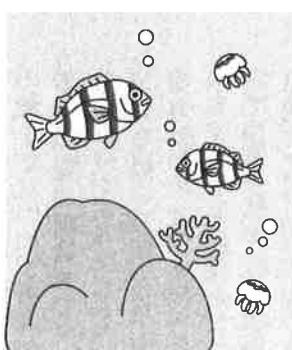
との答弁があつたが、  
津久見市敬老祝金条例の  
一部改正について

津久見市使用料条例の一部改正について

津久見市心身障害者福祉  
置条例の一部改正について

手当条例の廃止について  
は障害者団体などの責任  
者に事前に状況を説明

会長と事務局長には事前に知らせており、また、対象者全員に文書にてお願ひの通じをしていました。その答弁がありました。



サニーホールの設備及び  
管理に関する条例の廃止  
について

### 津久見市宗麟ユートピア 構想審議会条例の廃止

については、保管資料の今後の取り扱い等にあたり、審議会条例の廃止をしてもよいのかとの質疑があり、取扱いについては特に問題ではなく、当初の目的を達成したため条例を廃止しますとの答弁がありました。

平成16年度奨学資金事業特別会計予算の補正について  
平成16年度介護保険事業特別会計予算の補正について  
平成16年度奨学資金事業特別会計予算について  
平成17年度奨学資金事業特別会計予算について  
平成17年度介護保険事業特別会計予算について  
以上、審査の結果、全員異議なく可決すべきものと決しました。



### 予算特別委員会

委員長 板井王成

◆3月17日に委員会を開会し、付託された議案4件について審査を行いました。

である」との答弁がありました。

以上審査の結果、全員異議なく可決すべきものと決しました。

平成17年度一般会計予算について、質疑のあつた主なものは歳出では、総務費の負担金補助及び交付金の地元開催負担金について、「減額の検討はされたのか」との質疑があり、「財源の確保のため省力化等の検討をしたい」との答弁がありました。

また、教育費の学校管理費に関し、「校舎の補修は保護者に負担をかけず一定の予算是確保すべきではないか」との質疑に対応する交付税の補填について質疑があり、「より有利な交付税措置のある起債を活用したい」との答弁がありました。さらに災害復旧については、単費でもつて早期の復旧をお願いしたいとの要望がありました。

平成16年度一般会計予算の補正について、質疑のあつた主なものは、本年度の地方交付税の確定見込み額について質疑があり、「体験を通じ自ら解決していく学習が生かされているのかとの質疑があり、「個性を育む総合的学習事業交付金について予算化した理由と総合的学習が生かされているという力を育むことが目的であり、生かされると考へている」との答弁がありました。

初予算を若干上回る状況であります。歳入では、鉱産税の単価

の値上げについて質疑があり、「協議継続中です」との答弁がありました。

予算全般の質疑では、緊縮財政の中での地域再生のキーワードは何かについて「新年度から地域再生班を立ち上げ市民の意識の向上を含め、総合的に地域再生を見直すこと」との答弁がありました。

また、投資的経費の削減幅が大きく、市民に目を向けるべきではないのではないかとの質疑に対し、「大きな事業の完了に伴う部分もあるが、今後、投資的経費のあり方等について、地域再生成の中で検討を進めて行きたい」との答弁がありました。

新市の市長・市議の選挙。県も合併支援としてこれまでの支援プランを見直し周辺部対策を含む合併新市に対する支援に重点を置いたプランに改めた等々合併関連の報道で賑わっている。

3月定例市議会も終わり、吉本市政2年目がスタートしました。ほどんど毎日のように市町村のニュースならばに新市の市長・市議の選挙。

### 編集後記

審査の結果、本件については一部反対意見があり採決の結果、賛成多数により可決すべきものと決しました。

我々も行財政改革を含む諸課題を整備し、来るべき時に備えて努力を傾注してまいりたい。今後尚一層の御支援お願いいたします。

